

基本目標	取組方針	具体的な取組	担当課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況（11月末時点）
1	1	生涯	(1)	<p>【子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施】 子どもが成長・発達段階に応じた良い本と出会えるように、継続して推薦図書リストである「絵本おはなし・宝箱」と啓発用チラシを作成し、乳幼児健診時等に配付します。その際、市町村立図書館等や子育て支援関係の部局、読書ボランティア等の連携・協力により、読み聞かせや講話等を行い、家庭読書や図書館利用につながるよう働きかけます。 また、保育所・幼稚園等へも「絵本おはなし・宝箱」を配付し、保育者等が読み聞かせ等を行う時の選書の参考としたり、掲載している本が読み聞かせされたりするよう、活用を促します。 このように、乳幼児期から継続して読書活動(読み聞かせ)が行われるよう、子ども読み聞かせ運動(読育(どくいく)運動)を実施します。 【重】・子ども読み聞かせ運動(読育運動)</p>	<p>【子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施】(実績) ・保育所や幼稚園等に推薦図書リストを配布、選書や読み聞かせ等に活用されるように促す。 配付数：乳幼児健診等5,600部、保育所・幼稚園 660部(各園2部)、その他(研修、各園取組等)732部 (成果) ・継続的な啓発により、読み聞かせやブックスタートの取組について徐々に認知されてきている。 (課題) ・市町村訪問等により啓発を進めるとともに、子どもが本に触れる機会の充実に向けて、引き続き取組を実施していく必要がある。</p>	<p>【子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施】(実績) ・保育所や幼稚園等に推薦図書リストを配布、選書や読み聞かせ等に活用されるように促す。 配付数：乳幼児健診等 5,600部、保育所・幼稚園・認定こども園・保育事務所 448部(各園2部) その他(研修、啓発等)337部 (成果) ・保育技術専門講座で保育関係者に直接、活動内容の紹介やリストの活用を促すことができた。 (課題) ・推薦図書リストの発行から11年(第一版 2008.1)経過し、内容の改訂が行われていない。 (今後の予定) ・新たな推薦図書リストの作成に向けた検討を進める。</p>
			(2)	<p>【読書楽力検定の利用と活用の推進】 多様な読書の実現に向けて、様々なジャンルの本に触れるきっかけをつくるために、児童生徒に配付する「きつとある キミの心に ひびく本」と関連づけた読書楽力検定問題を毎年作成します。作成にあたっては、民間団体や児童生徒のアイデアなどを取り入れることなどの工夫を加え、活用の促進を図ります。 【重】・読書楽力検定事業</p>	<p>【読書楽力検定の利用と活用の推進】(実績) ・10月にホームページへ掲載し、市町村へ周知した。 (成果) ・取組人数257人(5小学校) (課題) ・選書等では図書の知識を有する司書等との連携が必要であり、県立図書館等との連携を図ることが必要である。</p>	<p>【読書楽力検定の利用と活用の推進】(実績) ・8月中旬にホームページに掲載し、市町村に周知した。 (成果) ・取組人数 20人(2小学校) (課題) ・例年実施校が固定化している中、大規模校が実施を取り止めたこと等から、実施校、人数の大幅な減少となっている。 ・研修や図書館への訪問等の機会でも問題の冊子を配付し、周知・活用を促してきたが、実施校に広がりが見られない状況。 (今後の予定) ・事業内容の見直しを図る(当課での作問を取り止め、子ども司書指導者養成講座等において、子どもたちが様々なジャンルの本に触れる一つの手法として検定を紹介等)</p>
			高等	<p>【学校図書館の組織的、計画的な活用の推進】 各校の学校経営計画や教育計画に「読書活動の推進」に関する項目を取り入れ、読書活動の重要性について学校全体での共有化を推進するとともに、読書活動推進に向けた組織的な活動がより活性化されるよう取り組みます。 また、各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間、キャリア教育等、学校の教育活動全体において、学校図書館を探究的な学習の場として積極的・計画的に利用・活用し、各担当者の一層の連携のもと多様な指導の展開が図られるよう、必要な支援を行います。 【重】・高等学校学校図書館教育推進事業</p>	<p>【高等学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進】(実績) ・計画的かつ組織的な学校図書館活用に向けた研修会の実施。 「司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会Ⅱ」(10月25日) 内容：講義「探究的な学習と図書館」 講師：オーテピア高知図書館 専門企画員 山重 壮一 氏 (成果) ・学校図書館の組織的な活用に向け、必要な情報の共有化を図ることができた。 (課題) ・学校図書館の活用率向上及び探究的な学習の充実に向け、各教科等の年間指導計画に学校図書館の活用を組み込むなど、さらに組織的、計画的な取組を進めることが必要である。</p>	<p>【高等学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進】(実績) ・学校図書館システムの再構築を令和元年度中に実施予定。 再構築では、クラウド化を予定しており、将来的には、学校間の相互検索や相互貸借が可能となるよう準備を進めている。 ・学校図書館システムについての説明会と併せて、学校図書館活用に関する研修会を実施予定。 「司書教諭及び司書の指導力向上事業に係る研究協議会」(3月頃) 内容：学校図書館システムの機能等についての説明 学校図書館システムを活用した探究的な学習や読書活動の推進について</p>
2	1	生涯	<p>【NPOと連携した読書環境の改善】 NPO法人等が他の民間団体等と連携し、公立図書館未設置の中山間地域等において「出張図書館」を開催し、地域の子どもと大人が本や読み聞かせを通じて触れ合い、交流を深め、身近な生活に図書館があることの良さを実感する機会を創出します。 【重】・出張図書館事業</p>	<p>【NPOと連携した読書環境の改善】(実績) ・公立図書館未設置の中山間地域を中心に市町村教育長や図書館行政所管課を訪問し、図書環境の充実にに向けた協議を行う。 11/12 本山町、大豊町 。11/29 三原村。 (課題) 市町村訪問等を通じて、NPO法人との連携を促しているが、実施にまで至っていない。</p>	<p>【NPOと連携した読書環境の改善】(課題) ・公立図書館が未設置の地域において、「出張図書館」を実施するには地域住民の理解や協力だけでなく、市町村教育委員会との綿密な連携が必要とされており、実施には至っていない。 (今後の予定) ・公立図書館が未設置の地域における読書活動の改善について、NPOとの連携に限定せず、引き続き検討を進める。(オーテピア高知図書館やボランティア団体との連携等)</p>	

基本 目標	取組 方針	具 体的 な 取 組	担 当 課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況(11月末時点)
2	3	(2)	小 中	<p>①【小・中・義務教育学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進】 学校図書館を計画的に利用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に図書及び新聞を生かすことで児童生徒の読書活動を充実させ、言語能力及び情報活用能力の育成を図ります。 【重】(H30)学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業</p> <p>②【研究指定校における研究の推進と成果の普及】 授業での学校図書館の活用方法、新聞を活用した学習活動、読書活動の促進方策や学校図書館担当者の在り方を中心に各指定校における実践研究をまとめ、ホームページ上に公開したりデータ化したりすることにより、学校へ普及啓発を行います。 【重】・探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 (学校図書館活用型) →(H30)・学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業</p> <p>③【発展的な学習の推進】 児童生徒の考える力や表現力等の向上を図るために、「高知県わくドキ！ショートコメントコンテスト」や「学校新聞づくりコンクール」等の図書館資料や新聞を活用する取組を推進します。 また、指定校での取組を中心に「高知県学校図書館活動ガイドブック」「高知県学校図書館活動実践事例集」及び「きっとある キミの心に ひびく本」の活用を促し、県内への普及を行います。さらに、各教科等の学習と読書が密接に関連づけられるよう、図書館資料をもとに発展的な学習に広がる取組を促進します。 【重】・探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 (学校図書館活用型) →(H30) 児童生徒の考える力や表現力等の向上を図るために、「学校新聞づくりコンクール」新聞を活用する取組を推進します。 また、指定校での取組を中心に「高知県学校図書館活動ガイドブック」「高知県学校図書館活動実践事例集」及び「きっとある キミの心に ひびく本」の活用を促し、県内への普及を行います。さらに、各教科等の学習と読書が密接に関連づけられるよう、図書館資料をもとに発展的な学習に広がる取組を促進します。 【重】・学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業</p>	<p>①小・中・義務教育学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進 (実績) ・指定校の指導案検討会や公開授業研修会に指導主事が参加し、計画的・継続的に支援を行う。</p> <p>②研究指定校における研究の推進と成果の普及 (実績) ・指定校19校の公開授業研修会参加者数 延べ2387名(H31.3月末) 奈半利町立奈半利小学校(1月30日:47名) 香南市立赤岡小学校(5月16日:19名、6月27日:23名、10月24日:25名、12月5日:21名、1月29日:19名、) 香美市立山田小学校(6月20日:45名、10月17日:39名、10月31日:40名、11月7日:33名、11月28日:32名、2月6日:56名) 南国市立十市小学校(5月23日:24名、6月27日:20名、7月6日:6名、10月23日:10名、10月24日:24名、11月28日:23名、11月30日:7名、) 四万十町立東又小学校(6月6日:13名、10月15日:14名、11月9日:14名、11月14日:11名、11月28日:13名、1月23日:15名、) いの町立伊野南小学校(6月1日:3名、6月20日:26名、10月31日:10名、11月7日:19名、11月20日:15名、11月29日:11名、) 土佐町立土佐町小中学校(5月17日:28名、6月19日:40名、7月2日:25名、7月13日:7名、9月7日:30名、10月10日:29名、11月7日:40名、12月3日:13名、2月7日:10名、2月8日:10名、2月18日:8名) 高知市立横内小学校(6月27日:39名、9月19日:40名、10月26日:22名、11月22日:21名、11月28日:37名、12月5日:23名) 四万十市立西土佐小学校(5月30日:20名、6月20日:18名、6月27日:17名、10月17日:18名、10月31日:16名、11月28日:28名) 宿毛市立宿毛小学校(6月15日:37名、11月2日:36名、2月8日:33名) 土佐市立蓮池小学校(9月4日:17名、10月22日:18名、11月12日:32名、) 高知市立はりまや橋小学校(9月12日:34名、10月19日:32名、11月22日:24名、12月12日:28名) 香美市立鏡野中学校(6月22日:19名、7月10日:17名、7月13日:20名、8月30日:14名、11月14日:79名、11月19日:13名、11月20日:16日、2月27日:15名) 中土佐町立大野見中学校(6月12日:13名、7月6日:9名、7月12日:12名、10月17日:13名、11月15日:12名、11月29日:9名、1月24日:10名) 日高村立日高中学校(6月15日:14名、7月12日:13名、11月18日:18名、12月7日:20名、2月4日:9名、2月20日:30名) 黒潮町立大方中学校(6月12日:25名、10月18日:27日、10月29日:26名、11月14日:23日、1月23日:21名、2月6日:22名) 宿毛市立片島中学校(6月6日:29名、10月31日:28名、1月30日:26日) 土佐清水市立清水中学校(6月13日:35名、10月17日:37名、11月19日:27名、1月23日:29名) 高知市立城東中学校(10月12日:22名、10月17日:14名、11月7日:28名、11月14日:34名、11月21日:8名、11月22日:22名、1月18日:10名、2月21日:12名)</p> <p>・指定校の推進教諭を対象とした学校図書館活用に関する研修会の実施(全5回) 第1回「学校図書館とは」(4月10日) 第2回「読書センターの役割について」(5月21日) 第3回「情報センターとしての役割について」(10月25日) 第4回「高知県学校図書館研修会」(11月29日) 第5回「学習センターとしての役割について」(1月21日)</p> <p>(成果) ・指定校の公開授業を研修の場とし、小中学校の教員が図書や新聞を活用した授業を学ぶ場を設けたことで、普及啓発につながっている。 公開授業[小学校:全学年国語、中学校:全教科等]</p> <p>③発展的な学習の推進 (実績) ・「学校図書館活用ガイドブック」WG(6・8月実施) ・(学校新聞づくりコンクール)H31.1.20 実施) (成果) ・高知県学校図書館協議会の協力を得ながら、内容の見直しを進めることができています。 ・学校新聞づくりコンクールへの初参加校11校。 (課題) ・学校新聞づくりコンクール参加数の大幅な減少。特に高知市内の中学校の参加が減少した。</p>	<p>①小・中・義務教育学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進 (実績) ・指定校の指導案検討会や公開授業研修会に指導主事が参加し、計画的・継続的に支援を行う。</p> <p>②研究指定校における研究の推進と成果の普及 (実績) ・指定校19校の公開授業研修会参加者数 延べ2797名(R1.11末) 奈半利町立奈半利小学校:40名 香南市立赤岡小学校:59名 香美市立山田小学校:101名 南国市立十市小学校:171名 四万十町立東又小学校:38名 いの町立伊野南小学校:172名 土佐町立土佐町小中学校:201名 高知市立横内小学校:386名 四万十市立西土佐小学校:34名 宿毛市立宿毛小学校:145名 土佐市立蓮池小学校:247名 高知市立はりまや橋小学校:183名 香美市立鏡野中学校:308名 中土佐町立大野見中学校:65名 日高村立日高中学校:147名 黒潮町立大方中学校:182名 宿毛市立片島中学校:82名 土佐清水市立清水中学校:102名 高知市立城東中学校:134名</p> <p>・指定校の推進教諭を対象とした学校図書館活用に関する研修会の実施(全5回) 第1回「高知県学校図書館協議会について」(4月11日) 第2回「学び方指導年間計画について」(5月14日) 第3回「新聞を作成するときの基礎基本について」(6月21日) 第4回「読書感想画について」(9月24日) 第5回「情報の取捨選択・整理について」(11月8日)</p> <p>(成果) ・指定校の研究発表会や公開授業が研修の場となり、参加者数の増加につながっている。また、研究の成果を発表することで、授業における学校図書館や図書館資料の活用の方法や効果を発信することもできた。 ・国語科授業づくり講座を実施したことで、参加者が増加し、より多くの学校に対する普及啓発につながっている。 研究発表会・公開授業[小学校:全学年国語、中学校:全教科等] 国語科授業づくり講座[香美市立鏡野中学校、土佐市立蓮池小学校、宿毛市立宿毛小学校、黒潮町立大方中学校、高知市立横内小学校]</p> <p>③発展的な学習の推進 (実績) ・(学校新聞づくりコンクール)R2.1.19 実施予定) (成果) ・学校新聞づくりコンクールへの初参加校25校。(小学校22校、中学校3校) ・学校新聞づくりコンクールへの取組数増加。(5216点 昨年度4755点 昨年度比+461点) (課題) ・高知市の中学校において学校新聞づくりコンクールへの参加が減少した。</p>
3	(2)	高 等		<p>【学校図書館の組織的、計画的な活用の推進(再掲)】 【重】・高等学校学校図書館教育推進事業</p>	<p>【高等学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進(再掲)】</p>	<p>【高等学校における学校図書館の組織的、計画的な活用の推進(再掲)】</p>

基本 目標	取組 方針	具 体的 な 取 組	担 当 課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	令和元年度の実施状況(11月末時点)
3	5	—	生涯	<p>①【読書ボランティアの養成】 地域や保育所・幼稚園、学校等で読み聞かせ等を行う読書ボランティアの育成、資質向上を図るために、研修や情報交換会を実施するとともに、市町村における読書ボランティアの養成を促します。 また、読書ボランティア活動調査を隔年で行い、活動状況を把握するとともに、読書ボランティアの組織化を支援することにより、活動の活性化を図ります。 【重】・読書ボランティア養成講座</p> <p>②【読書ボランティアリーダーの養成と組織化】 読書ボランティアとして活動されている方々の資質向上を図るため、より専門的な研修を実施し、読書ボランティアの核となる人材を育てるとともに、県内読書ボランティアグループの組織化を図ります。 また、読書ボランティアグループが地域学校協働本部の活動へ関わる仕組みづくりを進め学校と連携しながら地域全体で子どもたちを見守り育てる活動への参加を支援します。 【重】・読書ボランティア機能強化事業</p> <p>③【子ども司書養成講座の実施】 小・中学校における読書活動を活性化するために、子ども司書養成講座を開催し、学校図書館の環境整備や読書に関する広報・啓発に取り組む子どもの読書活動推進リーダーを育成します。 また、子ども司書と図書館司書等のつながりを強め、市町村や学校での読書環境の強化を図ります。 【重】・子ども司書養成事業</p>	<p>①【読書ボランティアの養成】 (実績) ・読書ボランティア養成講座実施 【地区別講座】 県内3地区×2回 西部:10/7 四万十町立図書館大正分館、12/16 四万十町立図書館 中部:9/9 高知こどもの図書館、10/28 高知こどもの図書館 東部:9/24 香美市基幹集落センター、11/4 香美市図書館 ・子どもと本を結ぶ大人の役割、選書の大切さ、読み聞かせに適した絵本等の紹介、おはなし会の実践 【全体講演会】 11/11 高知県立大学永国寺キャンパス 講師:小宮 由氏《翻訳家》 【出張講座】年2回 高知市立久重小学校、宿毛市総合社会福祉センター (成果) ・参加者数 地区別講座 80人、出張講座 68名、全体講演会 51名 計191名 ・読み聞かせに関する知識や技能を得るだけでなく、ボランティア間の交流の場としても機能し、組織化に向けたきっかけになっている。 (課題) 学校図書支援員などの学校図書館に関与している方への講座の周知ができていなかったため、広報の時期を早めるなどの工夫をする。</p> <p>②【読書ボランティアリーダーの養成と組織化】 (実績) ・読書ボランティアの活動の活性化による子どもの読書活動推進のため、「高知県読書ボランティア登録簿」の活用を啓発を実施。 (成果) ・高知県読書ボランティア登録簿登録者数:164団体、1,451名(H29年度調べ) ・学校支援地域本部に読み聞かせ活動が組み込まれている小学校数:105校、中学校29校、小中一貫校1校(市町村の小中学校数:294校) (課題) ・読書環境の厳しい地域において読書活動の推進を図るため、読書活動を推進する人材を育成する必要がある。 ・読書ボランティアを活性化するため、組織化を促す必要がある。</p> <p>③【子ども司書養成講座の実施】 (実績) ・各市町村で子ども司書が養成されるよう、市町村教育長や読書活動担当者等へ啓発を行う。 (成果) ・認定者数:55名(香美市18名、香南市9名、須崎市10名、津野町5名、四万十市4名、四万十町9名) (課題) ・子ども司書講座を行う市町村が増えるように、図書館職員への働きかけだけでなく、講座を実施するノウハウの共有や技術の向上など支援する必要がある。</p>	<p>①【読書ボランティアの養成】 (実績) 【地区別講座】 県内3地区×2回 西部:9/8 土佐清水市立市民図書館、11/3 四万十市立図書館 中部:9/1 高知こどもの図書館、10/27 いの町立図書館 東部:9/22 香美市基幹集落センター、10/20 芸西村立図書館 ・子どもと本を結ぶ大人の役割、選書の大切さ、読み聞かせに適した絵本等の紹介、おはなし会の実践 【全体講演会】12/1 高知県立文学館 講師:松田 素子氏《編集者・作家》 【出張講座】年3回 7/6 香美市立図書館物部分館、7/13 高知こどもの図書館、10/13 日高村立図書館 (成果) ・参加者数 地区別講座 80人、出張講座 36名、全体講演会 56名 計172名 ・読み聞かせに関する知識や技能を得るだけでなく、ボランティア間の交流の場としても機能している。 ・新たに県内の放課後子ども教室、放課後児童クラブ、子育て支援サークルに講座の周知を実施。 (課題) ・大学生や専門学生をターゲットとした講座ができれば、若年層における読書ボランティア活動の展開も広げることができるのではないかとと思われる。 (今後の予定) ・大学生等を対象とした「出張講座」の開催を検討する。 ・来年度、高知県における読書ボランティアの調査を実施。 学校現場や図書館、子育て支援施設等において、読書ボランティアの活用により読書活動が活性化することを目的に、県内の読書ボランティアの名簿を作成する。(今回はH29年度実施) 作成した名簿は、各市町村教育委員会や図書館、学校、幼稚園・保育所等に広く配付するとともに、新たに、読書ボランティアグループに対しても配付し、活動状況の情報共有が進むよう、グループ間の連携が取りやすい環境を整える。 ②【読書ボランティアリーダーの養成と組織化】 (課題) ・読書ボランティアの核となる人材の育成に重きを置いた講座の開催に至っていない。 ・県内でボランティアグループ同士が連携した取組が行われており、さらなる情報共有や連携を促していくための支援が求められている。 (今後の予定) ・読書ボランティアの活動経験者を対象とした「地区別講座」の開催を検討する。</p> <p>③【子ども司書養成講座の実施】 (実績) 養成講座を行う指導者を対象に研修・講座を実施 【ブロック別研修】 西部:11/25 四万十市立図書館、中部:9/30 いの町立図書館、東部:11/11 香南市立野市図書館 ・「POP」に関する技術や知識について実際に作成しながら学び、児童・生徒への指導力向上を目指す。 【全体講座】2/27 オーテピア高知図書館(予定) 講師:アンドリュー・デュアー教授(子ども司書推進プロジェクト代表) ・子ども司書の制度や活用事例等を学び、実施に向けた取組の拡大及び内容の充実を図る。 (成果) ・認定者数:45名(香美市19名、香南市5名、須崎市4名、津野町4名、四万十市4名、四万十町3名、いの町6名) ・ブロック別研修 参加者 50名(西部16名、中部20名、東部14名) ・学校司書や図書館支援員の参加も半数近くあり、児童・生徒への指導力だけでなく、普段の業務としても活用できる技術を獲得できた。 (課題) ・活動自体は広く認知されているが、制度の内容や効果、実施方法についてはあまり知られていない。 ・図書館と学校の連携が必須で、市町村教育委員会の仲介的な役割が求められている。 ・マンパワーが足りない図書館も多くあるため、できるだけ負担のかからないよう、養成講座の実施につなげる工夫が必要である。 ・子ども司書に認定された児童・生徒の活躍の場や機会に限りがある。 (今後の予定) ・市町村訪問等を通じて、各教育委員会に子ども司書の取組に対する理解を深めてもらい、図書館と学校との仲介役としての役割を担うよう促していく。</p>